

植物成長調整剤(刈り込み軽減・根部伸長)

商品名	一般名 (A・I%)	登録メーカー	毒性	魚毒性	包装	KG・L当り単価 (税抜き)	1ケース単価 (税抜き)	1回1㎡当り登録薬量	ワンポイント
グリーンフィールド水和剤	フルルプリミドール 50	日本農業	普	A	50g×20	68,500	68,500	日本芝:0.2~0.4g、西洋芝:0.1~0.2g、雑草:0.4~0.8g 日本芝草丈伸長抑制:0.025~0.075g スズメノカタビラ密度低減(ベントグラス):0.025~0.05g ベントグラス草丈伸長抑制:0.0125~0.05g ペレニアルライグラス草丈伸長抑制:0.025~0.075g	芝刈軽減等場面広し、雑草にも適用有り。
					500g×4	62,400	124,800		
グリーンフィールド粒剤	フルルプリミドール 1	日本農業	普	A	5kg×2	2,400	24,000	日本芝:10~20g、西洋芝:5~10g	さまざまな植物の草丈の伸長を長期抑制。 植栽の雑草伸長を抑制し、剪定軽減も可能。
ショートキープ液剤	ビスピリバックナトリウム塩 3	理研グリーン	普	A	1L×5	16,000	80,000	日本芝:0.5~1ml、ノシバ:0.75~1ml 西洋芝:0.1~0.2ml	一年生及び多年生雑草の刈取り軽減。
ロード液剤	ベンジルアミノプリン 2	理研グリーン	普		1L×3	30,000	90,000	0.6~1.2ml、エテホン加用:0.3~0.6ml	スズメノカタビラの出穂を抑制。ベントグラスに安全性大。 プロキシとの混用で効果大。
ナインG乳剤	ニコスルフロン 4	石原バイオ	普		250ml×10	20,000	50,000	0.1~0.15ml	チガヤ、ススキ等の多年生イネ科イネ科雑草の伸長抑制。 法面の保護に。
バウンティフロアブル	パクロプロラゾール 21.5	シンジェンタ・住友化学 日本農業・日産化学	普		250ml×4	30,800	30,800	日本芝:0.75~1.5ml、西洋芝:0.04~0.4ml	西洋芝(ベント、ブルー、ライ、フェスク、オーチャード)の 刈込み軽減。
ビオロックフロアブル	プロヘキサジオンカルシウム塩 25	クミアイ 理研グリーン	普	A	100ml×8	65,000	52,000	ブルーグラス:0.04~0.08ml、ベントグラス:0.02~0.06ml 無人ヘリ20倍	日本芝及びブルーグラス・ベントグラスの刈込み軽減。
プリモマックス液剤	トリネキサパックエチル 11.2	シンジェンタ	普		250ml×4	51,000	51,000	日本芝:0.035~0.2ml、西洋芝:0.05~0.2ml	日本芝及び西洋芝(ブルー、ベント、パーミュエダー)の 刈込み軽減。
プロキシ液剤	エテホン 21.5	バイエル	普		1L×6	16,000	96,000	1~1.5ml	西洋芝(ベント・ケンタッキー)内のスズメノカタビラの出穂抑制。



植物成長調整剤(ビオロック、プリモ)の使い方

概要：良いターフを作るために施肥を行うと芝生は伸びます。気温が高い6月から9月にかけては水分が十分あれば芝生は猛烈に成長します。水分が多いということは雨が多いというわけで芝刈り作業も遅れ気味になり、伸びた芝生はプレー上ばかりでなく、芝生の生理、管理上も問題があります。よい芝生を作るために芝生の成長を抑制する剤の中でも、ビオロックフロアブル、プリモマックス液剤は茎葉から吸収させるという方法で散布の容易さと高い効果を実現しています。

使用場面：高いクオリティを求められる場面から優先順位をつけて使用したいものです。フェアウェイは刈り込みが容易だからと見られていますが、現実には梅雨時期に徒長したり、刈りかすが残り、スパーもままならない場合が多いのです。ティ周り、グリーン周りのように面積の割に作業効率の上らない場所も最適です。ティ面も同時に出来る場合があります。ラフ、特に法面ラフ、要望が多いのがこの場面です。散布に手間がかかるのが欠点ですが、スパウターやラジコンヘリコプターの利用で効率化できます。弊社では、植物成長調整剤散布の請負も行っており、魅力的なプログラムをご用意しています。ご相談下さい。

散布間隔および回数：5~6週間隔で2回以上散布が効果的です。

㎡当り薬量および水量：剤の種類、芝の種類により異なります。

***注意事項**

- ・散布に適した天候：雨天を避けて下さい。
- ・散布器具、方法：薬液は茎葉部に均一にかかる器具を用いて茎葉散布を行ってください。
- ・散布前後の管理

- ★刈込み・散水：散布後1日以内は避けて下さい。
- ★更新作業：植物成長調整剤散布後2週間以内の作業は避けて下さい。
- ★施肥：植物成長調整剤散布前の施肥をお勧めします。施肥後肥効が現れ、刈りかすが増加し始めた頃が散布の適期です。植物成長調整剤散布後2週間以内の施肥は効果を相殺するためお勧めできません。**施肥は重要です。この剤の目的は芝生を伸ばさないことではなく良いターフを作ることです。**

- ★その他：ターフの状態により通常より強い効果が現れ、処理後ターフの緑色向上が遅れたり、下葉の枯れが目立つことがあります。2週間程度で解消し、その後は無処理より緑色が向上します。抑制が切れると芽数が増加します。

